



## お知らせ

## 「りんごの棚」を開設しました

「りんごの棚」とは、特別なニーズのある子どもたちのための資料を集めたコーナーです。すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことを目的にスウェーデンで始まった取組です。世界各地の図書館に取組は広がっており、日本でも多くの図書館が「りんごの棚」を設置しています。

「りんごの棚」にある本は、障害の有無にかかわらず、どなたでもご利用いただけます。様々な資料をぜひ手に取ってみてください！

〔設置場所〕 地下1階読書活動支援室内

当館の「りんごの棚」には、次の資料をご用意しています。

- ・大きな文字の青い鳥文庫
- ・点字つきさわる絵本
- ・LLブック

\*LLブック：写真や絵、ピクトグラムを使い、やさしい日本語で分かりやすく書かれた本。LLは、スウェーデン語「LättLäst」の略。



## 企画

## ロビー展示「栃木県立図書館職員がおすすめする『次の150年まで残したい私の大切な本』」

栃木県立図書館では、公開資料室にあるものと書庫にあるもの、併せて約78万冊の本を所蔵しています。本展示ではたくさんの蔵書の中から県立図書館の職員が個人的におすすめしたいと思う本を紹介しています。

栃木県が今年で誕生150周年の節目を迎えたことにちなんで、「次の150年まで残したい私の大切な本」というテーマで選びました。職員からのおすすめコメントもあわせてご覧ください。

〔会期〕 令和5(2023)年11月30日(木)  
～令和6(2024)年1月24日(水)

＜次回展示予告 2・3月＞  
県文化振興課と連携し、本県を代表する郷土料理「しもつかれ」に関する展示を行います。県立博物館でも同テーマでミニ展示が予定されています！

第397号の  
主な内容

- ・りんごの棚設置のお知らせ…p.1
- ・ロビー展示「職員のおすすめ本」…p.1
- ・文芸講演会、優良読書グループ表彰式…p.2
- ・県民ライブコンサート実施報告と出演者募集…p.2
- ・館内展示「お金～社会を流れ、動かすもの～」…p.2

- ・＜連載＞館長コラム…p.3
- ・ビブリオバトル実施報告…p.3
- ・蔵書点検実施報告…p.3
- ・＜連載＞司書の目(おすすめ本紹介) …p.4
- ・イベント案内&カレンダー…p.4

## 文芸講演会、優良読書グループ表彰式を開催しました

令和5(2023)年11月25日(土)、小説家 村崎なぎこ氏を講師にお招きし、文芸講演会を開催しました。村崎氏は執筆の際に図書館を非常に活用されているそうで、我々職員も驚くほど深い「県立図書館活用術」をご紹介くださいました。また、現在に至るまでの創作活動のあゆみをウィットに富んだ軽妙なトークでお話しいただき、会場はその熱量に引き込まれ大盛況のうちに終了しました。

また、栃木県読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」2名が会の運営に参加し、受付や花束贈呈などを担当したほか、講演会終了後には講師と交流を図りました。

講演：第一部 公募活動における図書館利用法  
第二部 『百年厨房』『ナカスイ!』への百年の本  
講師：小説家 村崎 なぎこ (むらさき なぎこ) 氏

さらに同日、優良読書グループ表彰式を行いました。表彰団体は以下のとおりです。おめでとうございます。

- ・栃木県読書推進運動協議会会長表彰  
「おはなしきゃらばん つぼみ座」(宇都宮市)  
「小山むらさき会」(小山市)  
「おはなしポットの会」(矢板市)
- ・(公社)読書推進運動協議会会長表彰  
「朗読ボランティア ひばりの会」(真岡市)



講演会の様子



朗読ボランティア  
ひばりの会



## 県民ライブコンサート (実施報告と出演者募集)

コンサート

今年度の県民ライブコンサート全3回のうち、3回目のコンサートを下記の日程で開催しました。多くの方にご来場いただきありがとうございました。

- ・フルートアンサンブルによるコンサート  
令和5(2023)年10月26日(木) Amitié Flute Ensemble

令和6(2024)年度の県民ライブコンサートへの出演者を、下記のとおり募集します。

〔募集対象数〕 個人を含む6団体  
〔募集期間〕 令和6(2024)年1月10日(水)～2月21日(水)

応募方法等の詳細は、当館ホームページあるいは館内で配布しているチラシをご覧ください。



県民ライブコンサートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。  
【調査相談課】028-622-5112

館内  
展示

## 展示「お金～社会を流れ、動かすもの～」

1月から新NISAが開始されること等を踏まえ、当館の所蔵する株式投資や保険、経済や金融等、お金に関する図書・雑誌の資料展示を行っています。

金融広報中央委員会が発行するパンフレット(大人向け・新成人向けの2種類)も配布していますので、ぜひご覧ください。

〔展示場所〕 2階階段踊り場  
〔会 期〕 令和5(2023)年11月25日(土)～令和6(2024)1月24日(水)



## 金平糖の思い出



甲辰の新しい年を迎えました。新しい年の初めにどんな本を読もうか、辰年生まれの作家の作品にしようかなどと思案するうち、偶然、『寺田寅彦「線香花火」「金平糖」を読む』という本に出会いました。辰年生まれではありませんが、寺田寅彦の名前と、懐かしさを感じる線香花火と金平糖の文字に惹かれ、年末にこの一冊を手にとりました。

金平糖が好きだった父の姿と会話が蘇ります。彩り豊かで綺麗な金平糖は、子どもの私にとって、食べるものというよりは飾っておくもの。父は、口の中で小さくなった金平糖をカリカリ噛むように食べてしまいます。金平糖をめぐるたわいのない会話は、そもそも、どんなふうにかき金平糖を作るのか、なぜこの金平糖の突起ができるのか、という話題に発展しました。大きな釜で、核となる砂糖の結晶に糖蜜をかけながら何日も攪拌して作る、それは職人技であることも後に知ることとなりますが、あの作り方であれば、なぜ丸くならず、沢山の突起ができるのだろう、と素朴な疑問がわきました。初めて、寺田寅彦の「金平糖」の随筆を読んだとき、同じ疑問を抱いたことが何となく嬉しい気持ちになったものです。父が寺田寅彦の随筆を読んでいたかは定かではありませんが、些細な関心や疑問が心のどこかで引っかかり、波紋を描いていったことを思い出します。この本では、中谷宇吉郎をはじめとする弟子たちや後の研究者たちが、この疑問をきっかけに科学の分野へ誘う仮説を提示していくのです。今回、「金平糖」の随筆は、私にとって、別の顔をして再登場しました。読書にはそのような醍醐味があります。

ちょうど同じ時期に、読書推進運動協議会が発行する「2024若い人に贈る読書のすすめ」のリーフレットが届きました。この中の、「13歳からのサイエンス」にも、子どもの頃の素朴な疑問から始まる探究の数々が紹介されています。知的好奇心をもつことは、次の一步を踏み出す力になるのでしょう。子どもの頃に抱いた興味・関心や疑問、あるいは小さな夢などほんの些細なことが、時間をかけて、金平糖の突起のように張り出していくのかもしれない。

(栃木県立図書館長)

### 実施報告

## 全国高等学校ビブリオバトル栃木県大会について

県生涯学習課主催の本大会では、当館職員がアドバイザーとして運営協力しています。今年で9回目を迎える本大会には、発表者12名、観戦者100名が参加して熱いバトルを繰り広げ、鹿沼高校の長谷川 菜々美さんが紹介した『六人の嘘つきな大学生』が、チャンプ本に輝きました。

また、同じく生涯学習課主催の「伝えよう！本の魅力コンテスト」の表彰式も行われました。さらに、本大会は、高校生読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」が司会進行などの運営を担当し、大会を盛り上げてくれました。

〔日時〕 令和5(2023)年12月17日(日)

〔場所〕 栃木県総合文化センターサブホール ほか



決勝進出者6名

### 実施報告

## 蔵書点検を実施しました

県立図書館では、特別整理期間を毎年10月と3月に設けています。期間中は蔵書点検のほか、開館中ではできない排架方法の見直しや大規模な書架移動等、図書館を使いやすく維持するための作業を行っています。

今年度は令和5(2023)年10月3日(火)から7日(土)までの期間に蔵書点検等を実施しました。昨年度に引き続き、県立図書館のFacebookに期間中の様子を投稿しましたので、ぜひご覧ください！

次回の特別整理期間は3月です。利用者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



＜コラム＞  
司書  
の目

わたしの1冊 読んでみませんか？

『考証明智光秀』（渡邊大門／編 東京堂出版 2020）

司書が日常の中で接した本から、おすすめの1冊をご紹介します。

昨年、館内展示のために様々な戦国武将を調べるうちに、すっかり戦国時代にはまってしまいました。多くの魅力的な武将の中でも興味を引くのが、明智光秀公。誰もが知る本能寺の変の首謀者ですが、その動機ばかりか前半生すらはつきりしません。そんな謎多き光秀公の真の姿に迫る一冊が、この『考証明智光秀』です。

歴史研究では、事実考証は骨の折れる作業です。時代を経ると伝承や創作、推測や捏造があたかも事実のように語られ、定着してしまうことがよくあります。信頼性の高い一次史料＝同時代の書簡や日記、書物などに基づく慎重な検討が大切です。本書はこのスタンスから14のテーマごとに光秀公の生涯を考察しており、最新研究を素人でも分かりやすくつかむことができます。

戦から戦へ転戦を重ねつつ、他国との交渉、領地経営、築城、軍法制定と八面六臂の活躍を重ねる公の生涯からは、そのたぐいまれな有能さが強く印象付けられます。さらに、人柄がにじむ書簡を読み込むうちに、より一層光秀公が身近に感じられてきます。近年、重要文書の発見が注目を集めたそうですが、今後更なる文書の発見による研究の進展を願ってやみません。

もう一つの本書の推しポイントが、美しい装丁です。表紙の黒地に浮かぶ水色桔梗紋、全ページに配された桔梗紋の美しさが心を惹きつけ、手に置いて愛でたくなる一冊です。

なお、現在確認されている光秀公の発給文書を全て収めた『明智光秀 史料で読む戦国史3』（藤田達生、福島克彦／編 八木書店古書出版部 2015）を併せて読むと、より一層深みにはまること請け合いです。（雪）



## イベント案内

### ■館内展示

#### 1F ロビー

- ・栃木県立図書館職員がおすすめする  
“次の150年まで残したい私の大切な本”
- ・SDGsの達成に向けて～世界の諸課題を考える～  
(JICA栃木デスク連携展示)
- ・栃木県庁各課連携展示(障害福祉課 ほか)
- ・スマタナ生誕200年(視聴覚室前)

#### B1F 読書活動支援室

- ・さまざまな訳で読む名作2 星の王子さま
- ・2024年は辰年！龍に関する本
- ・栃木県の先生が選んだ栃木県冬休みすいせん図書

#### 2F 公開資料室

- ・障害とコミュニケーション～みる・きく・はなす～
- ・お金～社会を流れ、動かすもの～(階段踊り場)

#### 3F 地域資料室

- ・[美術館連携]それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ(1月中旬～)
- ・宇都宮の公共交通
- ・[文書館連携]栃木県の成立と県庁移転

#### 4F 公開資料室

- ・2023年 ノーベル賞
- ・マリーアントワネット 没後230年
- ・2023年追悼企画 本で偲ぶ芥川賞・直木賞作家
- ・第170回 芥川賞・直木賞(1月中旬～)

図書館カレンダー ※□は休館日です。最新情報はホームページをご確認ください。  
1月20日・21日、2月17日は県庁地下駐車場が利用できません。

1	日	月	火	水	木	金	土	2	日	月	火	水	木	金	土	3	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6						1	2	3							1	2
JAN	7	8	9	10	11	12	13	FEB	4	5	6	7	8	9	10	MAR	3	4	5	6	7	8	9
睦月	14	15	16	17	18	19	20	如月	11	12	13	14	15	16	17	弥生	10	11	12	13	14	15	16
	21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23
	28	29	30	31					25	26	27	28	29				24	25	26	27	28	29	30
																	31						



栃木県立図書館報  
図書館だより 第397号  
発行日 令和6(2024)年1月



発行 栃木県立図書館  
〒320-0027 宇都宮市埜田1-3-23  
TEL 028-622-5111(代表)  
E-mail : tochilib@lib.pref.tochigi.lg.jp  
HP : http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/